

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-012

PDCA	事務事業名	用悪水路改修事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部 土木課 建設担当	担当	榊原	
					内線等	440	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第2節 都市基盤の整備					
		基本施策： 5. 治水・排水対策					
		単位施策： (1) 河川・ため池の能力強化					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	用悪水路の正常な機能確保					
	目的を達成するための手段・活動内容	用悪水路の正常な機能を確保するため、施設の維持修繕・改修を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①住民要望(個票)により実施した件数		2	11	16	件
		②住民からの口頭等の要望及び道路パトロール等での発		197	155	191	件
		③過年度要望を予算化して実施した件数		1	19	4	件
		事業費		56,328	58,388	55,797	千円
		人件費		9,171	9,820	8,062	千円
		総事業費		65,499	68,208	63,859	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
	①一般維持修繕・改修工事1件当たりのコスト		329	369	303	千円	
	②						
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①水路改修箇所数	実績値	1	8	4	か所
			目標値	1	2	3	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B					
		緊急性が高い水路を把握したことにより事業内容を見直し、4か所の水路を改修し、排水機能の確保及び危険箇所の改善をすることができた。今後も、住民要望や道路パトロールを通じて、老朽化し破損した水路や危険な水路を把握し、計画的に修繕していく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロールなどにより、修繕計画の見直しを行い、緊急性・必要性や予防保全的な観点から計画的に修繕を進めていく。				
		令和元年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			①水路改修箇所数		1	箇所	